



## ノートルダム大聖堂火災！

—西日本防災システム

2019 04 25

続報！

NBS 119

パリのノートルダム大聖堂で発生した火災で、火災発生時大聖堂の修復工事を行っていた作業員が、禁煙の現場でたばこを吸っていたことがわかったそうです。  
4月15日、世界遺産となっているパリのノートルダム大聖堂で大規模な火災が発生し、屋根の一部が焼け落ちる映像は衝撃的でした。  
火災発生時、大聖堂では修復工事の最中でしたが、ロイター通信によりますと、現場では喫煙が禁止されていたにもかかわらず数人の作業員が時々、たばこを吸っていたようです。  
修復を担当した会社はたばこが火災原因ではないと主張しているようですが、フランスメディアは、警察が現場から7本の吸い殻を発見したと報じています。(灰皿ではないということですね！)  
原因の特定には至っていないようですが、たばこが出火原因である可能性は高いようです。  
直接の原因でないと仮定しても、 ●禁煙の現場で何故吸う！ ●何故ルールを守らない！ ●  
何故我慢できない！  
もう何をしても、人類の大切な宝物は戻りません！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 